

ルームエアコン 据付説明書

9322865205-01



このエアコンは、地球のオゾン層を破壊しない、
冷媒R32を使用しています。



家庭用エアコン(冷媒R32)にはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

据付工事後に、必ず確認してください

確認した項目の□の中に印を記入してください。

- 電源は専用回路です
- 室内機・室外機はがたつきがなく設置されています
- 室内機は水平に設置されています
- 電源コードの中間接続や延長コードの使用、タコ足配線は行っていません
- 電源コンセントと電源プラグにがたつきはありません
- 端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内機と室外機を合わせました
- 接続ケーブルの中間接続を行っていません
- アースの接続は確実です
- サービスバルブ(液側・ガス側)は全開です
- ドレンホースの接続は確実です
- 水を流してドレン排水が正常であることを確認しました
- 断熱は確実に行いました(接続配管)
- 壁穴部の隙間は完全にふさぎました
- 室内機・室外機の吸込口、吹出口は障害物でふさがっていません
- ダストボックス、エアフィルター、プラズマ空清ユニットは正しく取り付けました
- 吸込グリルはきちんと閉じました
- 試運転を行いました
- リモコンの設定をしました
- リモコンで操作し、エラーや異音なく冷房・暖房運転が出来ることを確認しました
- フィルターおそうじ機能はエラー、異音などなく動作しました
- 取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明しました
- この据付説明書は取扱説明書、保証書とともに、お客様で保管していただくように依頼しました

確認日

工事(施工)会社名、確認者、電話番号

機種名

安全上のご注意(必ずお守りください)

- お使いになる人や他の人の危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に運営する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。また、この据付説明書は取扱説明書、保証書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。

△警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあるもの。

△注意 取り扱いを誤った場合、軽傷を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがあるもの。

絵表示の意味は次の通りです。△この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

△この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

△警告

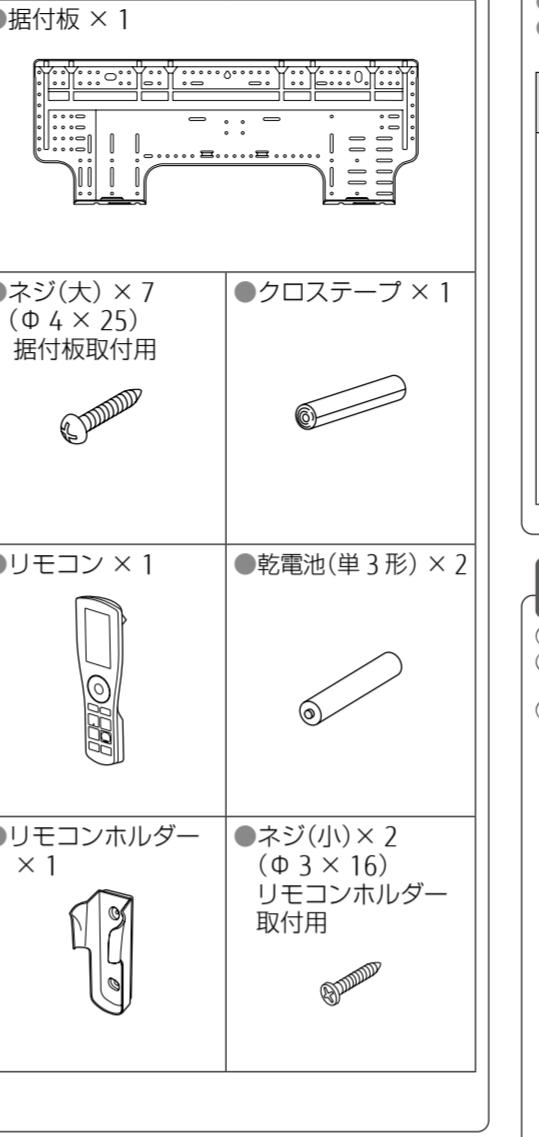
- 据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する(自分で据付工事をされないことがあると、水漏れやけが、感電、火災などの原因)
- 据付工事は、必ず付属品および指定の部品を使用し、この据付説明書に従って確実に行う
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気する(冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因)
- 配管、フレアナット、工具は、冷媒R32用もしくはR410A用のものを使用する(冷媒R2用の工具を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因)
- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける(フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因)(漏れた冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因)
- 据付作業では、圧縮機を運転する前に確実に接続配管を取り付ける(接続配管が取り付けられておらず、かつサービスバルブが開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂、けがなどの原因)
- アース(接地)は確実に行う
- アース工事は、販売店または専門業者に依頼する(アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。アースが不確実な場合は、感電の原因)

- 据付工事は、室内機・室外機の重さに十分耐える所に確実に行う(据付工事に不備があると、室内機・室外機の落下によるけがなどの原因)
- 周囲に熱源や火気がないことを確認してから作業を行う(冷媒が漏れ、熱源や火気などに触れると、有毒ガスが発生する原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格を持っている人が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
- 室内機・室外機の間の配線は、所定の接続ケーブル(VVFケーブル直径2.0mm)を使用し、確実に端子盤へ差し込む
- また、端子盤に接続ケーブルからの無理な力が加わらないように、接続ケーブルを「配線押さえ」で確実に固定する
- 室内機は、小動物のすみかになるような場所には設置しない(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れる、故障や発煙、発火の原因)
- 漏電しゃ断器を取り付ける(漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因)

△注意

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する(排水経路が不確実な場合、屋内に浸水し、家財などをぬらす原因)
- 室内機・室外機のアルミフィンに触らない(手を切る原因)
- 可燃性ガスが漏れるおそれのある所へは設置しない(ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火して火災などの原因)
- 室内機・室外機の下にほかの電気製品や家財などを置かない(冷媒が滴下する場合があり、汚損や故障の原因)
- 室外機は、小動物のすみかになるような場所には設置しない(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れる、故障や発煙、発火の原因)
- また、お客様に周囲をきれいに保つことをお願いしてください。

標準付属部品



1. 電源について

- 電源は、必ず製品の定格電圧と合わせてください。
- 電源が異なると、内部の電気部品が破損し運転できなくなります。または正常に動作しません。

△警告

- 電気工事・アース工事は、電気工事士の資格を持っている人が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工する
 - 電源は必ず専用の分岐回路にし、専用のコンセントを設ける
- | 能力 | 電源 | ヒューズおよびブレーカー定格 | コンセント定格 |
|--------------------|---------|----------------|----------|
| 25 タイプ | 単相 100V | 20A | 125V20A① |
| 28・40・56・63・71 タイプ | 単相 200V | 20A | 250V20A② |
- 電源回路の容量不足などがあると、火災の原因になります。
- 電源コードの改造や延長はしない
 - 漏電しゃ断器を取り付ける
- 漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。

3. 据付板の取り付け

△警告

- 据付板は、室内機の重さに十分耐える所に確実に行う
- 据付工事に不備があると、室内機の落下によるけがなどの原因になります。

△注意

- 据付板は、水平・垂直に取り付ける
- 傾きがあると水漏れの原因になります。

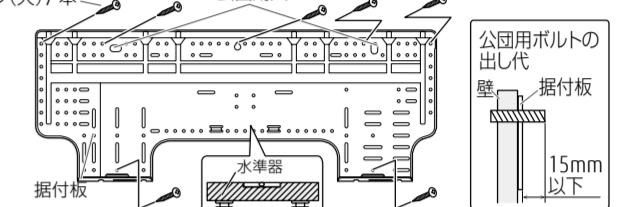
壁に直接取り付ける場合

- 据付板は室内機の裏面にあります。
- 水準器などを用いて水平を確認します。

- 据付板は、下図のように外周に近い穴にネジ(大)7本以上用いて固定します。

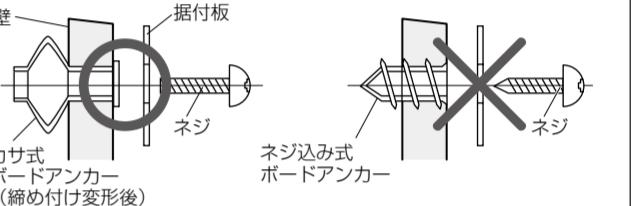
- 据付板にびりつきがないことを確認します。

- 公団穴用アダプタを用いるときは、据付板を壁に直接取り付け、2つの袋ナットで固定してください。



△注意

- 壁が石膏ボードの場合、必ずカサ式ボードアンカーを用いて固定する
- ネジ込み式のボードアンカーは、締め過ぎると、保持強度が極端に落ちる場合がありますので、使用しないでください。



回り縁と鶴居に取り付ける場合

- 据付金具(現地手配)をご使用ください。

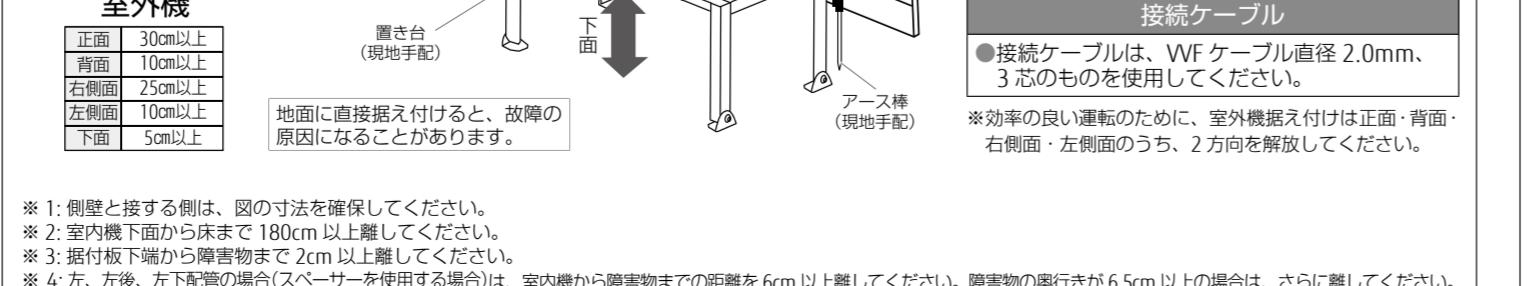
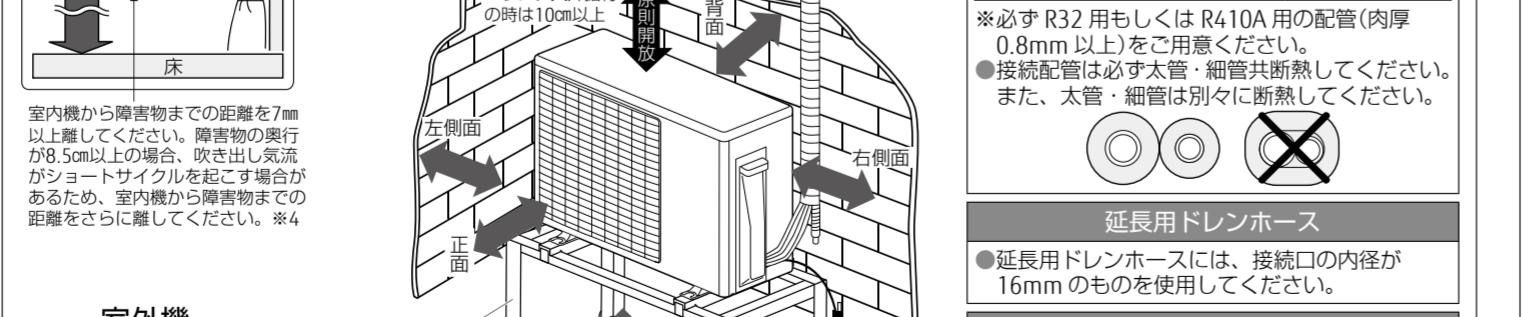
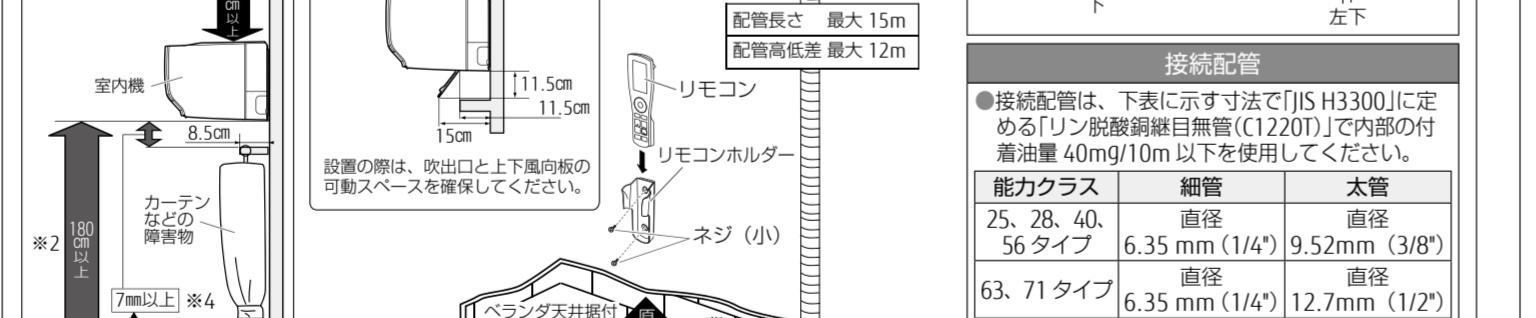
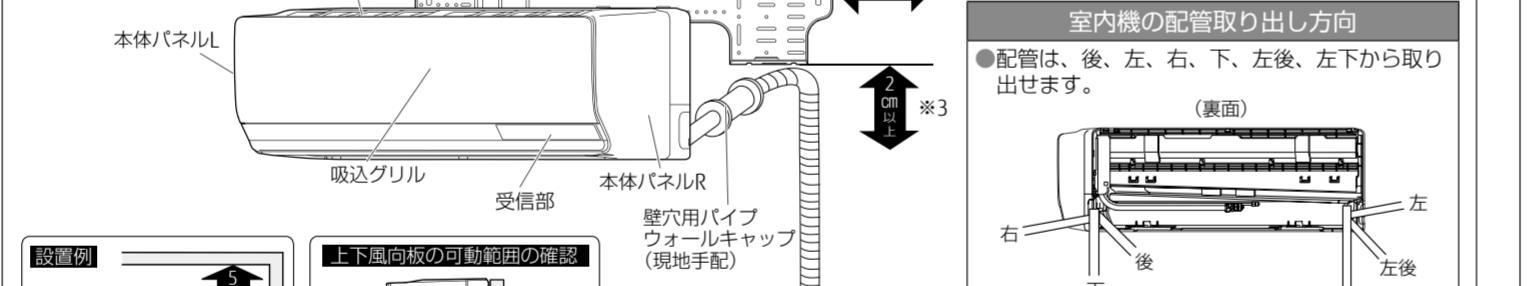
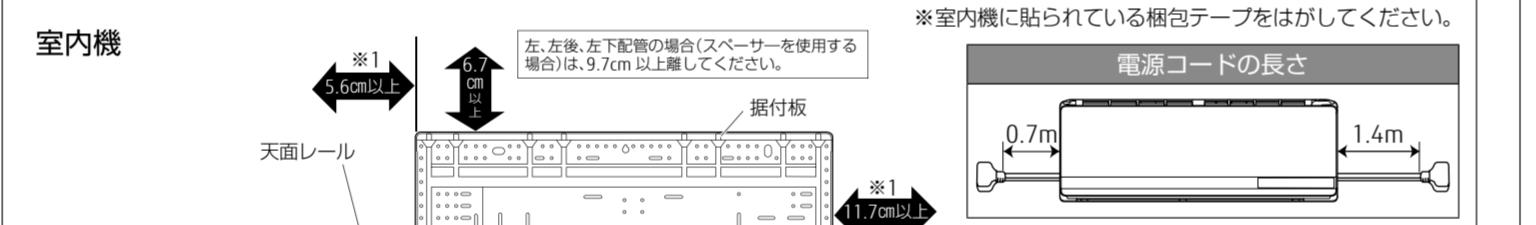
- 据付金具(現地手配)に付属の説明書に従って取り付けてください。

- 取付部が石膏ボード等木ネジが効かない場所には、カサ式ボードアンカー等各専用ネジをご使用ください。

据付場所の選定

- お客様の同意を得て据え付けてください。
- 調理場など油煙のある場所や、工場などで油を使用している場所、潮風が直接当たる場所、温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、腐食性ガスの発生する場所、おり、ホコリの多い場所、動物の尿がかかる、アモンニアの発生する場所への設置は避けてください。
- 下記の条件が満たせる場所を選定してください。
- 室内機
- 据付板の周囲に右図の間隔が取れる所。
- 室内機の重さに耐え、共振音の出ない丈夫な壁面。
- 吸込口、吹出口付近に障害物がなく、冷気・暖気が部屋全体に行きわたる所。
- 室内機の吸込口が、火災警報器から1.5m以上離れた所。(吹き出そす風の影響などによる誤動作防止のため)
- 近くに熱源や蒸気の発生、可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 直射日光の当たらない所。
- ダストボックス、エアフィルター、プラズマ空清ユニットが着脱できる所。
- 電源(専用回路)に近い所。(電源プラグが届く所)
- 電源は必ず専用回路を使用してください。他の電源回路を使うとテレビ、ラジオなどにノイズが発生するおそれがあります。
- 室内機と電源コードが、テレビ、ラジオおよびそのアンテナ線よりも1m以上離れている所。
- 電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からはできるだけ離してください。
- 電子レンジ、無線LANルーター、Bluetooth[®] 対応機器、その他の2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコンの周辺機器など。
- 移動式調理用の構内無線機および特定小電力無線局が運用されない所。
- 電子式調理用灯方式の蛍光灯、薄型テレビの画面の影響を避けない所。
- 電子式調理用灯方式(イソノーラー方式など)の蛍光灯の近くに設置する所。
- リモコンの信号を受け付けていないことがありますのでご注意ください。屋間でも点灯してリモコンの信号を受け付けることを確認してください。

室内機

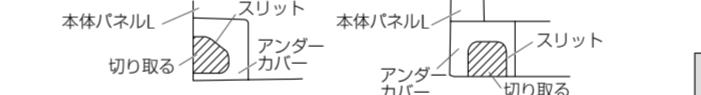


4. 室内機の取り付け

配管取出し口の加工

- 右出し、下出し、左出し、左下出し配管の場合には、それぞれの配管取出し用のスリットを切り取ってください。

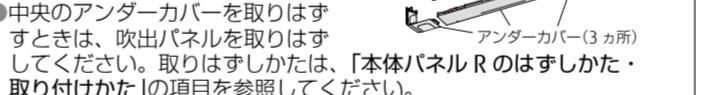
- (例) 左下出し配管の場合



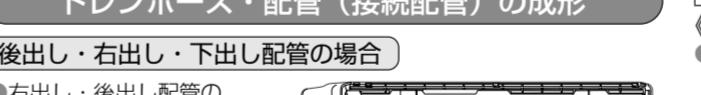
- (例) 左下出し配管の場合



- (例) 右下出し配管の場合



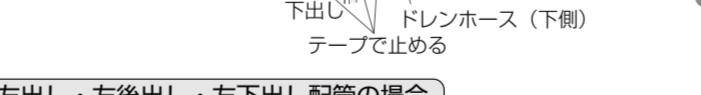
- (例) 右下出し配管の場合



- (例) 下出し配管の場合



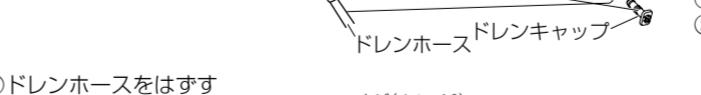
- (例) 下出し配管の場合



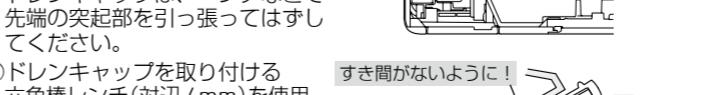
- (例) 左下出し・右下出し・下出し配管の場合



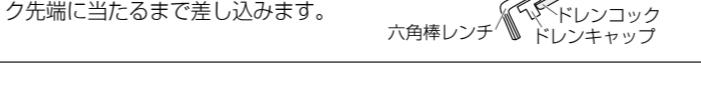
- (例) 左下出し・右下出し・下出し配管の場合



- (例) 左下出し・右下出し・下出し配管の場合



- (例) 左下出し・右下出し・下出し配管の場合



- (例) 左下出し・右下出し・下出し配管の場合

- (例) 左下出し・右下出し・下出し配管の場合

6. 配線の接続

△警告

- 接続ケーブルは VVF ケーブル直径 2.0mm*を使用する
より線は絶対に使用しない
より線を使用すると火災の原因になります。
- 端子盤への接続ケーブルの差し込みは確実に行う
差し込みが確実でないと火災の原因になります。
- 接続ケーブルは必ず配線押さえで固定する
- 接続ケーブルを途中で接続しない
故障、感電、火災などの原因になります。

*最大電流が 15A 以下の機種で、電線の長さが 10m 以内の場合は、直径 1.6mm の接続ケーブルも使用できます。再利用については、直径 2.0mm の接続ケーブルを推奨します。

室内機の配線

- 吸込グリルを開きます。
- 配線カバーをはずします。
- 配線押さえをはずします。
- 接続ケーブルを室内機裏側から通します。
- 接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。
・むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。
- 接続ケーブルの芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。
- 確認窓
【より線使用禁止】
(むき線部)
(絶縁体)
15mm
35mm
接続ケーブル
(VVFケーブル)
(直径2.0mm)
(外装部)
15mm
55mm
接続ケーブル
(VVFケーブル)
(直径2.0mm)
(外装部)
- 接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください)。

- 接続ケーブルを端子盤に確実に差し込みます。
・むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。
- 接続ケーブルの芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。
- 確認窓
【より線使用禁止】
(むき線部)
(絶縁体)
15mm
35mm
接続ケーブル
(VVFケーブル)
(直径2.0mm)
(外装部)
- 接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください)。

⑦配線カバーをネジで取り付けます。
⑧吸込グリルを閉めます。

7. 配管の接続・エアバージ

△警告

- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付けける
フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因になります。
- また、漏れた冷媒が火気に触れる、有毒ガスが発生する原因になります。
- 据付作業は、圧縮機を運転する前に確実に接続配管を取り付ける
接続配管が取り付けられておらず、かつサービスバルブが開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、けがなどの原因になります。

フレア加工

- パイプカッターで接続配管を必要な長さに切断します。
- 切粉が銅管に入らないよう下向きにしてパリを取ります。
- フレアナットを銅管に挿入し、フレア工具でフレア加工します。

-
- ダイス
ダイス
銅管
銅管外径
A (mm)
R32 もしくは R410A 用フレアツールクラッチ式
6.35mm (1/4")
9.52mm (3/8")
12.7mm (1/2")
0 ~ 0.5

配管の接続

- 配管は折れ防止のため、急激に曲げたりせず半径 70mm 以上で曲げてください。
- 配管は同じ箇所の曲げ伸びを何度も行いますと、折れるおそれがありますのでご注意ください。
- 本体のフレアナットは、配管接続の直前まではすらないでください。
- フレア部への冷凍油の塗布は行わないでください。
- 防雪部材を使用する場合は、配管が防雪部材に接触しないようにしてください。

- 室外側ウォールキャップ(現地手配)を壁面にパイプに取り付けます。
- 室内機の配管と接続配管の中心を合わせ、手で十分フレアナットを締めた後、トルクレンチを使用し、2 丁スパン方式で規定のトルクで締め付けます。
- 室外機の弁部と接続配管の中心を合わせ、手で十分フレアナットを締めた後、トルクレンチを使用して規定のトルクで締め付けます。

- | フレアナット | 締付けトルク |
|---------------|-----------------|
| 6.35mm (1/4") | 16.0 ~ 18.0 N·m |
| 9.52mm (3/8") | 32.0 ~ 42.0 N·m |
| 12.7mm (1/2") | 49.0 ~ 61.0 N·m |

【2 丁スパン方式で締めてください】

室外機の配線

- 電装カバーをはずします。(下図参照)
- 室外機の配線押さえをはずします。
- 配線押さえをはずします。
- 接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。
- むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。
- むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。

④接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください)。

- 接続ケーブルは、右矢印印の範囲内で室外機後方に差し出します。(接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。)

- 接続ケーブルは、右矢印印の範囲内で室外機後方に差し出します。(接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。)

⑤接続ケーブルを端子盤に確実に差し込みます。

・むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。

・むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。

- 確認窓
【より線使用禁止】
(むき線部)
(絶縁体)
15mm
35mm
接続ケーブル
(VVFケーブル)
(直径2.0mm)
(外装部)

⑥接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください)。

⑦配線カバーをネジで取り付けます。

⑧吸込グリルを閉めます。

⑨吸込グリルを開めます。

⑩吸込グリルを閉めます。

⑪吸込グリルを開めます。

⑫吸込グリルを閉めます。

⑬吸込グリルを開めます。

⑭吸込グリルを閉めます。

⑮吸込グリルを開めます。

⑯吸込グリルを閉めます。

⑰吸込グリルを開めます。

⑱吸込グリルを閉めます。

⑲吸込グリルを開めます。

⑳吸込グリルを閉めます。

㉑吸込グリルを開めます。

㉒吸込グリルを閉めます。

㉓吸込グリルを開めます。

㉔吸込グリルを閉めます。

㉕吸込グリルを開めます。

㉖吸込グリルを閉めます。

㉗吸込グリルを開めます。

㉘吸込グリルを閉めます。

㉙吸込グリルを開めます。

㉚吸込グリルを閉めます。

㉛吸込グリルを開めます。

㉜吸込グリルを閉めます。

㉝吸込グリルを開めます。

㉞吸込グリルを閉めます。

㉟吸込グリルを開めます。

㉟吸込グリルを閉めます。

㉟吸込グリルを開めます。